



新たな地域文化の広がりを

6/24 第1回安曇野市公民館大会

市として初めての開催となる、安曇野市公民館大会が6月24日、堀金総合体育館で開催されました。

この日は、市内99の地区公民館の役員を中心に約350人が参加。事例発表や記念講演を通じて、公民館活動への理解を深めました。事例発表では、牧地区公民館(穂高)と扇町地区公民館(堀金)が、価値観の多様化や高齢化に伴う活動の難しさや、これまでの活動の成果をそれぞれ発表しました。



食を伝える、楽しむ

6/27 安曇野流すてきな暮らし

地元の食材を使った料理などを学ぶ「安曇野流すてきな暮らし」が6月27日、真々部公民館で始まりました。

この講座は、昨年に市と農業改良普及センターが開催した講座の参加者が、さらに食を学び、楽しもうと自主的に企画し開催しました。参加者の鈴木仁美さん(穂高柏原)は、「近くにある食材をもっと積極的に使いたいと思い参加した。ぜひ家でやってみたい」と話しました。今後は、地元の夕顔を使ったかんばん作り、竹を使って焼くバームクーヘン作りなどを行う予定です。

新タマネギの収穫ににぎわう

6/16、17 安曇野とよしな玉ねぎ祭り

タマネギの収穫体験や直売を行う「安曇野とよしな玉ねぎ祭り」が6月16日と17日、豊科と堀金地域の14会場で開かれました。

真々部公民館近くの会場では、開始時間前から多くの人が集まり、新タマネギの収穫体験に汗を流しました。今年で2回目の参加となる松本市から来た男性は「今年は玉が大きく、いかにもおいしそう。一緒に参加した孫たちは、前日から収穫を楽しみにしていました」と話しました。

この祭りは、地元の集落営農組合を中心に平成10年から開催されています。タマネギづくりとその販売を通じて、組合員同士の輪、生産者と消費者の輪は、毎年広がりを見せています。



凜とした花に誘われ

6/16、17 安曇野明科あやめまつり

市観光協会などが主催する第23回あやめまつりが6月11日から30日まで明科の龍門淵公園・あやめ公園で行われました。期間中の16日と17日には、メインイベントとして、カヌー大会や歌や踊りのイベント、また、今年からラフティングの体験が行われました。

この両日は梅雨の中休みで、好天となり、親子連れなど大勢の来場者が、イベントを満喫しました。

このイベントに初めて訪れたという市内在住の50代の女性は、「水にかかわる企画が多く、さわやかなイベントでした」と話しました。



安曇野のラッパが優勝

7/1 松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

松本消防協会は7月1日、松本消防協会ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会を堀金の(株)ハマキョウフレックスあずみ野物流センターと堀金中学校で開催しました。

競技は、ポンプ車操法・小型ポンプ操法・ラッパ吹奏の3種目で、松本地方の23チームが出場。ポンプ車操法の部で第13分団第3部(堀金)が準優勝、ラッパ吹奏の部で音楽喇叭隊が優勝を果たしました。優勝した音楽喇叭隊は、8月5日に下伊那郡喬木村で開かれる県大会に出場します。



幽玄の世界を学ぶ

6/19 能楽教室

市教育委員会は6月19日、能の世界に親しんでもらおうと能楽教室を穂高南小学校で開きました。この日は穂高南小学校の児童と市民など約700人が参加。講師に能楽師の青木道喜さんを迎えて、立命館大学能楽部の学生など8人が、能の演目「土蜘蛛」を上演しました。児童たちは、能楽の独特な言い回しや舞いの動きに興味津々。児童代表の南沢拓法君は、「能は表情を出してはいけないなど、初めて知りました。能が長く続いた訳が分かった気がします」と話しました。